

光明小学校保護者との情報共有の場の報告

日時	令和8年(2026年)6月15日(月)9:30~11:30
場所	光明小学校4階 視聴覚室
出席者	光明小学校保護者複数名、未就学児の保護者数名、老人会、民生児童委員 光明小学校長、教頭 教育委員会:4人
資料	光明・未成地域の教育環境の適正化について
協議録(概要)	
事務局	～資料に沿って説明～
保護者1	光明小学校はもともと良元小学校と末成小学校の校区を統合して誕生した経緯があると認識しているが、今回、末成小学校への統合となった理由を教えてください。
事務局	光明・未成・良元・高司の各地域は現在小規模から中規模の学校であり、今後も児童数の増加は見込めず、減少または横ばいの状態が続く見込みである。校区変更による調整を行っても、将来的な小規模化は避けられない。光明小学校は末成小学校と距離が近く、また良元小学校との間には交通量の多い幹線道路(中津浜線)がある。通学路の安全性を考慮し、末成小学校との統合という方向性で検討を進めている。
保護者1	将来的な統廃合について確認したい。良元小学校も統廃合の対象に含まれる可能性があるということか。それとも中津浜線の東側だけで再編が行われるのか。現時点でのデータに基づく予測があれば聞かせてほしい。
事務局	光明小学校は昭和54年に開校したが、なぜ良元ではなく末成なのかについて補足する。旧町村単位で考えれば良元小学校区も関わりがあるが、中津浜線の交通量増加により往来が困難になったことが大きな要因である。地域の代表を交えた議論においても、現在の地域割りに基づき末成との統合が適当であるとの整理がなされている。 施設面においても、末成小学校は校舎に余裕がある一方、良元小学校は築65年以上が経過し、建て替えが急務である。良元小学校の敷地は周辺道路が狭く、建て替えの際には法規制により道路幅を確保する必要があり、運動場側に校舎を寄せなければならない。その結果、児童の受け入れキャパシティが著しく制限される。規模・安全性・将来的な施設整備の見通しを総合的に判断し、末成小学校を統合先として選択した。
保護者2	中山台小学校で統合を経験した児童や教職員へのフィードバックは行っているか。統合から4年が経過した現在見えてきた課題と、それを踏まえた光明・未成での具体的な対策を聞きたい。
事務局	中山台では適正化検討委員会においてアンケート等を実施し、児童の様子や保護者・地域の声を把握してきた。課題として挙がったのは、スクールカウンセラーの配置期

	間である。中山台では当初3年の予定が2年となったため、光明・末成の統合では最初から3年間の配置体制を整えることで対応していきたいと思っている。
保護者2	児童の心理面・身体面のケアが重要である。中山台での統合時、スクールカウンセラーを必要とした児童の数や割合はどの程度だったか。また、配置年数を増やすだけで解決できるものなのか、具体的な対策を教えてください。
事務局	スクールカウンセラーは基本的に学校を巡回する形であるが、中山台の統合時には統合後に1名を配置した。実数は手元にないが、統合直後は教員が相談を促す場面もあり、十分に活用されたと聞いている。必要性は強く認識している。
事務局	統合に伴う加配教員の配置についても、クラス数に応じて兵庫県教育委員会にしっかりと要請し、3年間手厚い体制を確保できるよう努める。
保護者2	統合から4年が経過した現在、カウンセリングを受けていた児童の心理的状态はどうなっているか。心理的負担は解消され、通常の状態に戻っているのか。
事務局	心理的課題の原因は統合だけではなく、もともとの要因が統合時に顕在化する場合もある。カウンセリングや個別支援を通じて、一定の改善が見られている。子どもは急激に回復するわけではないため、学校では現在も注視し、必要に応じて専門機関に繋ぐ体制をとっている。
保護者2	統合によって心理的課題を抱える児童が増えたのか、それとも統合前と割合は変わらないのか。
教頭	以前の担当部署での経験からお答えする。中山台では、校舎を移動する側（旧中山五月台小）の児童に寄り添うため、スクールカウンセラーを重点的に配置した（おおむね3対1の割合）。カウンセラーは児童のフォローだけでなく、教員に対して「どのような学校をつくるか」「不安な児童にどう語りかけるか」を丁寧に助言した。 実際には「以前の学校に帰りたい」といった直接的な不適応の相談はほとんどなかった。環境の変化が苦手な児童や、人数増加により落ち着きを欠く児童については、専門的見地から教員と協議し、個別支援につなげた。丁寧に寄り添うことで、統合による心理的な影響は一定程度抑えられたと認識している。
保護者2	統合から4年が経過した現在、統合に起因するメンタルケアが必要な児童はゼロという理解でよいのか。
教頭	その通りである。宝塚市では日常的に「心と身体のアナケート」を実施し、子どもの声を把握している。日常的な取組と統合に伴う支援体制が連動することで、特に心配な状況にある児童はいなかったと聞いている。

保護者3	統合の過渡期に入学する子どもは、光明小学校と末成小学校のどちらに入学することになるのか。
事務局	基本的には指定された学校（光明小学校）に通うことになる。ただし、環境への適応が難しいなどの特別な事情がある場合は、末成小学校への就学校変更も含め、柔軟に配慮したい。
保護者4	中山台の資料にある交流回数が少なく感じる。光明と末成では今後どの程度の頻度で交流するのか。統合直後に宿泊行事を迎える学年の負担は大きい。統合前からお互いを深く知り合える頻度で交流してほしい。 また、光明小と末成小では保護者間の温度差も大きい。光明側の不安を教育委員会はどのように把握し、払拭していくつもりか。
事務局	中山台ではコロナ禍の影響で制約があったが、最終年度は対面交流を積極的に増やした実績がある。今回はそのような制約がないため、両校の教員が目標を共有し、交流を計画していく。宿泊行事等についても、十分な準備を行うことで大きな支障は生じない考える。 保護者間の温度差については認識している。説明会を重ねながら解消に努めるとともに、来校が難しい方のために意見フォームも用意した。フォームから寄せられた質問には次回以降に回答し、個人が特定されない形で情報を共有していく。直接説明し、直接意見を聞く機会を積極的に設けることを重視していく。
保護者4	説明会や意見フォームは有効だが、来校できない方や言葉にすることが苦手な保護者・子どもへの情報発信が不十分である。高司中学校の校区変更の際もそうであったが、ホームページをこまめに確認する方は多くない。もう少し積極的に、こちらから情報を届けるような頻度の高い発信をお願いしたい。
事務局	ご意見を参考にさせていただき、できる限りの情報発信と意見聴取の機会を設けていきたい。ありがとうございました。
校長	情報はとても大事と思うが、やはりその中身が大事だと思っている。 子どもたちはいい学校を作りたいという思いでいる。ただ、そのことを日常的に話しているわけでもないが、節目節目にそれが出てきている。そこでは、子どもたちに新しいお友達たちと一緒にどんな学校を作っていくかということを考えさせることはすごく大事なことと思っている。今もそうだが、誰とでも仲良くしようと言いつつも、色んな喧嘩があったりしながら子どもたちは育っていく。それこそ新しいお友達と一緒にいるわけで、人数が多いと聞いたら、先ほどのお母さんのように、すぐに宿泊学習はかわいそうではないかとか、その気持ちもよく分かるが、色んなトラブルを経験しながら子どもは成長していく。

ZOOM 視聴者	中山台の事例では、スクールカウンセラーにかかる児童が少なかったのは、多くの教職員が丁寧に子どもたちを見守ったからだと考える。この夏休みから末成小学校の校長と協議を始め、目指す子ども像や学校像のすり合わせを行っていく予定である。その内容を保護者・地域にも共有しながら、統合が子どもたちにとってより良いものとなるよう取り組んでいく。 私たちになかなか言えない方については、早くから2次元コードで意見を集約する場を設けていただいているので、そこに匿名でもいいから意見を出してもらえたらと思う。 私のところに来られるお母さんは、早く統合して欲しい。統合するなら、早くしっかりと考えていこうという方が多い。つらいと言う方も数名いて、その方たちは少人数・アットホームでいいと言われるが、中学校・高校・大学、そして社会にいくと、どんどん広がっていく。日本の多くの学校は、単学級よりも複数学級の方が多いという実態の中で、中学校で初めて広がり、何か傷つくこともあるかもしれないが、低学年からある程度の人数でできるのであれば、それもいいことである。 どちらも100%いいとか有り得ないが、市として、財政のことや色んなことを考えながら、学校数を減らしていくという方針がある以上、私たちがそうさせられるのではなく、どのように進めていくかということを問われていると思うので、そういう意味で色んなご意見をいただけたらと思う。 回数も大事だが、回数より中身と思うし、統合してすぐに自然学校をしたいと思うか、少し日が空いてと思うかもしれないが、今回も初めての場所で4泊5日で実施した。現地で本当によかったと思うことがあるので、周到的準備がどこまでできるかどうかも含めて、やりながら進めていくということもあるし、課題が生まれたらその分色んな手だてを打てることもあるので、マイナスに考えようと思うと、いっぱいマイナスに考えられるが、プラスに考えられるところは考えて、学校を運営していきたいと考えている。 ZOOM 参加の民生児童委員の者である。我が子も校長先生に見ていただいた。もう25年以上も前の話なので、少し違うと思われるかもしれないが、参考として聞いていただきたい。 私の2番目の子が初めて光明小学校が1学級になった学年だった。当時は、宝塚第一中学校と高司中学校に分かれて進学していて、中学になって大変だった子がたくさんいた。末成小学校と光明小学校は、地域で色々あるが、仲良く過ごしていたと思うし、高司中学校に行っても全般的に楽しく過ごせたと思うが、宝塚第一中学校に行っても不登校になった子はたくさんいた。 小学校のうちから仲良くなっておくことが、中学校での生活に大きく影響する。早い段階で一緒になり、中学校を迎える方が子どもにとって良いと考える。親も変わることに不安があると思うが、子どもは親のことをとても見ている。お母さん・お父さんが不満を言っていたり、泣いていたり、どうしようって言っていると子どもも不安になる。だから、お母さん・お父さんが大丈夫と言ってあげると、子どもも楽しい学校が待っているかなと思うのではないかなと思う。 いい地域になるように私も見守っているの、何かあれば、私に聞いていただけたらと思う。
----------	--

保護者5	未就学児の保護者だが、2点伺いたい。 1点目は、具体的に何年度から統合を考えているのか、また実際に影響を受けるのは何年生か。2点目は、就学前の立場から、最初から末成小学校に入学する方が変化が少ないのではないかと考える。統合前のタイミングで、新1年生から末成小学校への入学を選択できる仕組みも検討していただきたい。
事務局	統合の時期については、遅くとも令和11年度を目標としている。できれば令和10年4月を目指しているが、施設改修の工程が大きな要因となる。令和10年4月統合の場合、統合後も一部工事が継続する。令和11年4月統合であれば、すべての工事が完了した状態で統合を迎えることができる。今年7月を目途に統合時期を最終決定したい。 新1年生の入学先については、中山台の事例では統合時期に合わせて一斉に移行した。光明・末成については改めて検討する。ただし、光明小学校の特定学年が欠落することになるため、その点を十分に考慮した上で判断していく。
老人会	光明町老人会の者である。 学校統廃合に伴い、避難所としての機能が失われることを懸念している。光明小学校地下倉庫の緊急避難用備品、ハンドポンプ、水タンク等はどうなるのか。また、光明小学校は末成小学校より標高が高く、津波等の際の避難場所としての優位性もある。廃校に伴うこれらの条件の変化について、総合的にどのように検討されているか教えてほしい。
事務局	防災資機材については、人口規模に応じて適材適所に配置されるべきものと考えている。この地域に必要と判断されるものについては、跡地活用の中でその機能を存続させる方向で検討する。今後、防災担当部署と協議を進める予定であり、現時点で具体的な結論は出ていないが、この地域の住民が避難に不自由しないよう適切に対応していく。避難所としての機能継続については、近隣の良元小学校・末成小学校・高司中学校等との関係も含めて別途検討する。
老人会	廃校と同時に、防災機能についても並行して検討を進め、地域住民が安心して暮らせるようにお願いしたい。
保護者2	子どもたちの交流について3点質問する。①現時点で光明小と末成小の交流は行われているか。②今後の交流の頻度・内容はどのように検討しているか。③現在交流を行っている場合、子どもたちの声（不安など）はどうか。
校長	現時点では子どもの交流は行っていない。今後の頻度・内容については未定であるが、この夏休みから検討を始める予定である。決まり次第お伝えする。
保護者6	2点申し上げたい。1点目は、資料の文章が「光明小が末成小に吸収される」という

	印象を与えている。「2校を統合し、より良い学校をつくる」という趣旨が伝わる表現に改めてほしい。2点目は、今後は両校合同の説明会を開催し、双方の保護者が同じ場で意見を共有できる機会をつくってほしい。そのあたりのご予定はあるのかどうか教えていただきたい。
事務局	全国的な学校統合の流れは、2校を閉校して新たな1校をつくる方式が主流であり、宝塚市でも中山台でその方法を採用した。ただ、これも相手方の学校の理解がないと駄目なので、できる限り早く末成小学校のPTA、保護者側にそのことを説明する。 それと合同説明会だが、今はそれぞれ学校の事情が違うので、別で説明の機会を設けているが、できる限り早期にそうした場を持っていきたいと思う。
保護者7	「できる限り早く」という表現が繰り返されるが、具体的な時期を示してほしい。不安が募るばかりである。また、末成側から「来るんでしょ」という声が実際に聞かれる。早急に「2校で1校をつくる」という姿勢を広く伝えてほしい。
事務局	7月から8月にかけて、光明小・末成小・幼稚園を含めた計画を策定する予定である。統合の時期・方法を計画として明示した上で、合同説明会を開催したい。今年7月・8月を目途に具体的な内容をお示しする。
保護者8	小学校5年生の保護者をしている。 3点申し上げたい。1点目は通学路の安全確保である。ごんじょ川交差点付近は道幅が狭く、通学時の混雑や車との接触が懸念されるので、安全に通学できるような環境を検討してほしい。2点目は、光明小学校の卒業作品等を新しい学校にも展示するなど、光明小のアイデンティティを大切にしてほしい。3点目は、統合後の子どもたちが「新しい学校の第1期生」として前向きになれるようなイベントを検討してほしい。
事務局	通学路については、中山台でも登校班の時間を分散させたり、グリーンで歩行帯を視覚的に示したりする工夫を行った。統合までの期間、教育委員会と道路部局が連携して安全な通学路を整備していきたいと思う。 卒業作品等については、中山台でも両校の作品を統合後の学校に持ち寄り展示した。同様の対応を行うことで、そうした意思をずっと受け継いでいきたいと思う。 前向きなイベントについては、ご意見をありがとうございます。交流授業も含め積極的に検討していく。保護者からのアイデアも歓迎する。
保護者9	ごんじょ川方面や AOKI 方面を通る通学路は、交通量が多い割に道幅が狭い。自分が住む地域（元良元小校区）は、中津浜線を渡って良元小学校へ向かう方が安全な場合もある。宝塚第一小学校であるように、希望者が良元小学校へ通うことができるような、柔軟な対応は可能か。
事務局	現時点でそのようなご意見はお聞きしていなかったが、登校班の編成も含めた課題

保護者 10	として今後の検討事項とする。個別のご相談については、意見フォームからご連絡いただければ個別に対応する。 今の段階でいいので、統合後、光明小学校の敷地はどのように活用されるのか。 皆さんの意見を聞いた上で、2つ思ったことがあって、1つは、入学する小学校を選べたらいいなという話があったと思うが、どうしたいかということ、是非みんなに聞いてほしい。答える方が少なかったとしても、人数が少ないからその意見はなかったではなく、もっと広く意見を集める機会を持っていただきたいと思う。今日の話がある中で、子どものことをすごく皆さん考えて、教育のこと考えてくださっていると思うが、保護者の思いはどこに行くのかというモヤモヤがあるのではないかなと思う。 検討したことを親に対して説明しますではなく、親の意見を酌み取りつつ検討する会も必要ではないかなと思う。親が安心しないと子どもに影響が出る。先ほど話された民生児童委員の方もいらっしゃったが、そこが大事と思う。一番影響を受けるのは子どもだが、子どもの保護者も当事者だと思う。 後、中学生の娘からタイムカプセルについて聞いてほしいと頼まれた。
事務局	光明小学校の跡地については、統合前でまだ具体のところが決まっていないが、教育委員会としては、しばらく教育施設として活用していきたいと考えている。 先ほども少し話が出たが、良元小学校が非常に古くなっていて、周辺道路が非常に狭い。建て替え時には、周辺道路を9メートル道路にしなければならないから、運動場の方に敷地を縮めていかないといけないこと、運動場に仮設校舎を建てることや正門が工事車両の搬入路になってくることを考えれば、教育委員会としては、建て替え時に子どもが移るような場所も含めて、考えることができればいいなと思っている。ただ、あくまでも、今、想定される使い方、教育委員会が一方的に思っていることとお考えいただければと思う。 新1年生の入学先については、個別事情がある場合は個別に対応する。今も対応しており、個別の事情については公表ができないので、個別対応でということなる。全体に適用される事項については、オープンに説明していかないといけないと思っているので、そこはしっかりと対応していきたいと思う。 保護者の意見を聞く場について、今がそういう場ではないかなと思うが、確かに意見を言いにくいという方もいらっしゃると思う。私自身が今どんな方法が可能かということ、これを提案できないが、いずれにしても保護者の方が安心して意見を言えるような機会、この説明会や意見フォームというお話をしたが、それ以外に、全国の事例も参考にしながら検討する。ご希望の形式があれば、できる限りそんな場も設定していきたいと思うので、ご意見があればお寄せいただければと思う。 タイムカプセルについては、校長先生に今の状況をお願いする。
校長	タイムカプセルは埋めておらず、校内に保管している。毎年、成人式の翌日に卒業生が集まり開封する行事を続けている。この建物がなくなっても、場所が確保されている限り同様に行えると考えている。

事務局	統合後もしばらくはこの施設を教育委員会で使用する予定であり、6年生の子が卒業して、成人を迎えるまでの期間は施設が存続するか微妙ではあるが、タイムカプセルの行事が継続できるよう、付帯意見として計画に盛り込みたい。
事務局	本日は長時間にわたりご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見はしっかりと記録し、今後の検討に活かしていく。次回はあまり日を空けずに開催するとともに、ZOOMでの視聴にも対応していく。引き続きご協力をよろしくお願いします。